



徳成寺 寺とかわら版 第108号 2015年12月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

早くも一年を振り返る時期が来てしまいました。今年は

4月の住職在職25周年花まつり・7月からは本堂の外壁塗装

屋根補修工事、そして11月の納骨堂5周年感謝祭を執り行う

ことができ、皆様のおかげと心から感謝致しております。とても

ハードなスケジュールでしたが、充実した一年になりました。

それもこれも、仏様の教え・こころ・言葉とつながりを取り戻して

頂きたい一念からであります。人生を生き抜いていく本物の力を

共に賜りたく2015年最後のかかわら版をお届けします。

*子供おつとめ本を、ご希望の方はご一報下さい。

—発行責任者—

住職

大山健児

土符

大山ひびみ



徳成寺・跡取り長男の東京奮闘記

長男です。

ありがたい事にうどんを頂きました。

関東のうどんは出汁が黒いので、透き通るような出汁とコシの強いうどんを食べると、やっぱり地元最高やな！と思ったりします。

母に倣い、具沢山を信条としておりますので、2パック入ってるうちの1袋目はしっぽく、2袋目はカレーうどんにして食べました。

個人的にはぶっかけが一番好きなのですが、11月中盤から急に冷え、その気にもなれず、暖かいうどんにしました。ご馳走様です。師走という事で父も町内を走り回るとは思いますが何卒よろしくお願いします。

